

資料1

第2期徳島はぐくみプラン(後期計画)の進捗状況

| 重点目標 | 基準年度 平成30年度 | 目標値(B) 令和6年度 | 実績 令和2年度 | 実績 令和3年度 | 実績見込(A) 令和4年度 | 進捗度 A/B | 進捗状況の説明 | 所管課 | 備考 |
|---------------------------------------|--|-----------------|---|---|-------------------|------------------|--|------------|--|
| I 結婚、妊娠・出産、子育ての希望がかなう環境づくり | | | | | | | | | |
| 1 結婚の希望をかなえる支援の展開 | | | | | | | | | |
| 1 婚活支援応援企業・団体数 | 298団体 | 460団体 | 377団体 | 422団体 | 482団体 | 100% (104.8%) | 本県の結婚支援拠点「マリッサとくしま」において、応援企業・団体(婚活イベントの実施)や協賛企業・団体(企業内で結婚を支援)の登録に取り組んだ結果、令和4年度末の登録数は、前年度より約60団体増加する見込みであり、順調に進捗している。引き続き、企業等との連携強化を図り、結婚支援に積極的に取り組む。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 2 結婚支援拠点に登録する男女の出逢いの場等におけるカップル成立数(累計) | 755組 | 2,600組 | 1,355組 | 1,579組 | 1,967組 | 75.7% | 「マリッサとくしま」において、お見合いやイベントなどの出逢いの場の提供に加え、個別相談会や阿波の縁むすびサポーターによる、きめ細やかな支援に取り組んでいる。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった前年度と比較して、お見合い件数やイベントの開催回数が増加している。引き続き、結婚支援を積極的に取り組む。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 2 妊娠・出産・乳幼児支援の充実 | | | | | | | | | |
| 3 妊産婦*・周産期*・新生児*・乳児死亡率* | 妊産婦 0.0 (出産10万対) 周産期 3.6 (出産千対) 新生児 1.2 (出産千対) 乳児 2.0 (出産千対) ※H30年数値 | 減少 | 妊産婦 4.3 (出産10万対) 周産期 4.4 (出産千対) 新生児 2.0 (出産千対) 乳児 3.5 (出産千対) ※R2年数値 | 妊産婦 0.0 (出産10万対) 周産期 3.4 (出産千対) 新生児 0.7 (出産千対) 乳児 1.6 (出産千対) ※R3年数値 | 令和5年9月頃 判明予定 | — | 令和3年の妊産婦、周産期、新生児、乳児の死亡率は、全て基準数値を下回った。引き続き、産婦人科医や小児科医などが参加する徳島県周産期医療協議会の専門部会において、乳児死亡症例について原因分析を行い、その対策を検討し、死亡率の減少に向けて取り組む。 | 健康づくり課 | 厚生労働省・人口動態統計(妊産婦死亡率は5年平均で算出) |
| 4 3歳児健康診査受診率 | 95.8% ※H29数値 (策定後判明 97.2% ※H30数値) | 向上 | 97.06% ※R2数値 96.4% ※R1数値 | 令和5年3月末 頃判明予定 | 令和6年3月末 頃判明予定 | — | 未受診者については、市町村から電話や訪問等により勧奨し、受診に結びつけているところである。引き続き、受診率向上を目指し、市町村と情報共有するなど連携し取組を推進する。 | 健康づくり課 | 地域保健健康増進事業報告 |
| 5 妊婦喫煙率(妊娠届出時) | 3% ※H29数値 (策定後判明 2.0% ※H30数値) | 0% | 1.9% ※R2数値 2.4% ※R1数値 | 令和5年12月末 頃判明予定 | 令和6年12月末 頃判明予定 | — | 「妊娠届出時における妊婦及び家族の喫煙状況調査」を活用した妊婦及び家族への禁煙指導の徹底など、主体となる市町村と連携し、妊婦の喫煙対策の取組を推進する。 | 健康づくり課 | 「健やか親子21(第2次)」の指標に基づく乳幼児健康診査必須項目調査 |
| 6 産前・産後の妊産婦の不安感解消を図る「交流イベント」の参加組数(累計) | 480組 | 1,800組 | 1,359組 | 1,381組 | 1,421組 | 78.9% | 新型コロナウイルス感染症の影響により、人数を制限した等の結果、令和4年度の参加組数は40組となった。引き続き、取組を推進する。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 3 多様な子育て支援の展開 | | | | | | | | | |
| 7 とくしま在宅育児応援クーポンの利用率 | — | 75% | 50.2% | 26.8% | 35.0% | 46.7% | クーポンの利用対象であったロタウイルス予防接種が、令和2年10月より定期接種化されたことに伴い、令和3年度は利用率が減少したものの、対象サービスの拡充等により、令和4年度の利用率は向上する見込みである。 | 次世代育成・青少年課 | 出産・子育て応援交付金の開始により、クーポン事業は令和4年度で廃止予定(経過措置有) |
| 8 保育所待機児童数 | 33人 | 0人 | 61人 | 23人 | 0人 | 100% | 保育人材確保や保育所、認定こども園の整備促進、市町村による入所調整等の取組を推進した結果、令和4年度(4月1日時点)の待機児童は、県に記録が残る平成11年以降、初めてゼロとなった。引き続き、市町村と連携し、「待機児童解消」の継続に取り組む。 | 次世代育成・青少年課 | 資料1 |

| | | | | | | | | | | |
|----------------|--------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|---|------------|--|
| 9 | 認定こども園の設置数 | 54か所 | 89か所 | 70か所 | 73か所 | 80か所 | 89.9% | 目標達成には至っていないが、おおむね順調に進捗している。 引き続き、市町村による保育施設の更なる整備を支援する。(R4:7か所増) | 次世代育成・青少年課 | |
| 10 | 放課後児童クラブの登録児童数 | 8,100人 | 9,100人 | 8,162人 | 8,079人 | 8,174人 | 89.8% | 実施主体である市町村と連携し、放課後児童クラブの円滑な施設整備に取り組むとともに、利用料負担軽減のため、放課後児童クラブ利用料軽減事業制度により、利用料無料化に取り組む市町村を支援している。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 4 ひとり親家庭の自立の支援 | | | | | | | | | | |
| 11 | 徳島県ひとり親家庭等自立促進計画の推進・見直し等 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 令和元年度改定計画に基づき、引き続き、ひとり親家庭等に対して自立の促進に向けた総合的な施策の推進に取り組む。 | 次世代育成・青少年課 | |

II あらゆる主体が協働して子どもを育む社会づくり

| | | | | | | | | | | |
|----------------------|----------------------------------|---------|---------|---------|---------|-----------|-------|--|---------------------|--|
| 1 仕事と子育てを両立できる環境づくり | | | | | | | | | | |
| 12 | 「はぐくみ支援企業」認証件数(累計) | 254件 | 390件 | 271件 | 285件 | 340件 | 87.2% | 各企業への訪問により次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定を呼びかけるとともに、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組む企業等を「はぐくみ支援企業」として認証を行った。(R5.1.1時点:331件) | 労働雇用戦略課 | |
| 13 | 「はぐくみ支援企業表彰件数」(累計) | 96件 | 110件 | 102件 | 104件 | 107件 | 97.3% | 「はぐくみ支援企業」のうち優良な企業に対し表彰を行う予定(3月中)である。 | 労働雇用戦略課 | |
| 14 | 夜間・休日労働相談受付件数(H25年度からの累計) | 10,365件 | 20,500件 | 14,170件 | 16,003件 | 17,500件 | 85.4% | 労働雇用戦略課において総合労働相談を実施するとともに、「仕事なんでも相談室」を平日夜間(16時～21時)・土日(10時～16時)に開設し、労働者の勤務時間外における相談対応を行っている。(R5.1月末時点:17,397件) | 労働雇用戦略課 | |
| 2 女性の社会活躍と男性の育児参画の推進 | | | | | | | | | | |
| 15 | 「フレアキャンパス」受講による実践的活動への参加意欲向上度 | — | 80%以上 | 82.0% | 82.0% | 80.0% | 100% | オンラインでの実施をはじめ、新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底の上、講座を開催している。引き続き、受講後の実践的活動に繋がるよう、男女共同参画に関する課題を学び考える講座を実施する。 | 男女参画・人権課 | |
| 16 | 女性農業リーダー(指導・青年農業者、農業委員、JA役員等)の割合 | 12.7% | 22.5% | 13.9% | 13.6% | 令和5年6月頃判明 | — | 女性農業者のさらなる資質向上や活動の充実を支援するとともに、女性の視点を活かした「地域活性化」や6次産業化など「新しいビジネスチャレンジ」を支援し、女性リーダー育成を図っている。 | 農林水産総合技術支援センター経営推進課 | |
| 3 地域社会による子育て支援 | | | | | | | | | | |
| 17 | 「Go! Go! くっつき隊応援事業」県内協賛店舗数 | 1,121件 | 1,300件 | 1,160件 | 1,204件 | 1,230件 | 94.6% | とくしま子育て支援パスポート「くっつき虫」の新規協賛店舗の獲得を図るとともに、協賛店舗の閉店や移転等の実態に応じた店舗情報の更新を進めている。引き続き、子育て支援パスポートの利用促進に努めるとともに、子育て家庭の外出時の利便性の向上を図る。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 18 | 「保育助手」雇用施設数(累計) | — | 70施設 | 7施設 | 12施設 | 16施設 | 22.9% | 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、保育現場でのアクティブ・シニアの参入が進んでいないが、引き続き、実施主体である市町村との連携を強化し、アクティブ・シニアの就業を支援する。また、保育現場においては、他の加算制度を活用した高齢者の雇用も行われていることから、「保育助手」とあわせて高齢者の雇用を推進し、保育士の負担軽減や保育の質の向上を図る。 | 次世代育成・青少年課 | |

| 4 安全・安心で快適なまちづくりの推進 | | | | | | | | | | |
|---------------------|--------------------------|---------|----------------|---------|---------|---------|------------------|---|-------------|----|
| 19 | チャイルドシートの使用率の向上 | 67% | 80% | 調査未実施 | 調査未実施 | 66.5% | 83.1% | 令和4年4月23日、県内の数地点においてJAFとチャイルドシートの使用率調査を実施したところ、使用率は66.5%であった。引き続き、街頭における指導取締りの強化を行うほか、広報啓発活動、安全教育活動を推進する。 | 警察本部交通企画課 | |
| 20 | 安心メール登録者数 | 23,784人 | 30,000人 | 25,151人 | 24,883人 | 25,075人 | 83.6% | 関係機関・団体と連携して、県民に安心メール広報用チラシを配布し、令和4年12月末現在、平成30年度末と比較して登録者が約1,290人増加した。 | 警察本部生活安全企画課 | |
| 21 | 事故危険箇所における安全対策の実施 | 14箇所 | 24箇所 ※～R2年度 | 24箇所 | (24箇所) | 24箇所 | (100%) | 第5次社会資本重点整備計画の策定により、県管理道路20箇所が指定され、令和4年3月に公表されており、県警と連携して事故削減の効果が見込まれる対策を検討の上、随時、対策を行う。 | 道路整備課 | |
| 22 | ノンステップバス*(路線バス)の割合 | 69% | 79% | 74.5% | 79.7% | 82.8% | 100% (104.8%) | 令和4年度は、国と協調し、路線バス事業者が行うノンステップバス6台の新規購入等に対して補助を行った。 | 次世代交通課 | |
| 23 | 放課後や週末等における教育・体験活動の実施率 | 91.5% | 100% | 99.3% | 100% | 100% | 100% | 令和4年度は、学校管理職や行政職員、地域人材等を対象に「子供の豊かな学び推進研修会」を年2回開催し、コミュニティスクール導入や地域人材による学校支援の理解促進を図ることができた。引き続き、学校サポーターズクラブの活動や地域学校協働活動を推進する。 | 生涯学習課 | |
| 24 | とくしま安心子育てサポーター養成数 | 101人 | 210人 | 129人 | 143人 | 156人 | 74.3% | 新型コロナウイルス感染防止対策のため、規模を縮小して講座を開催し、令和4年度は13人のサポーターを養成した。引き続き取組を推進する。 | 次世代育成・青少年課 | 累計 |
| 25 | 既存の「道の駅」における子育て応援箇所数(累計) | — | 10箇所 ※～R4年度 | 5箇所 | 7箇所 | 9箇所 | 90.0% | 令和3年度の2箇所に引き続き、令和4年度は、道の駅「にしいや」、「藍ランドうたつ」、「三野」で実施した。(道の駅「にしいや」において、一部、緑越の見込み) | 道路整備課 | |

Ⅲ 子どもや若者が幸せを実感し、住みたいと思う地域づくり

| 1 子ども・若者の健全育成の推進 | | | | | | | | | | |
|------------------|----------------------------------|-------|--------|-------|--------|-----------|------------------|---|---------------------|--|
| 26 | 徳島県内「科学技術」関連イベント数 | 310回 | 350回 | 369回 | 365回 | 350回 | 100% | 新型コロナウイルス感染症への対応として、オンライン開催等も取り入れながら、引き続き関連イベントを実施する。 | 万博推進課 | |
| 27 | 赤ちゃん授業実施学校数(累計) | 25校 | 49校 | 29校 | 33校 | 37校 | 75.5% | 昨年度に引き続き、令和4年度は、オンラインを活用した赤ちゃん授業を実施した。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況に対応した取組を推進する。 | 次世代育成・青少年課 | |
| 28 | 地域若者サポートステーションにおける新規登録者に対する進路決定率 | 61.8% | 62% | 77.9% | 87.7% | 80.0% | 100% (129.0%) | 地域若者サポートステーションにおいて、個別の就労支援とカウンセリングによるケア、就労準備講座、職場実習など、総合的に取り組んだ。(R5.1月末時点:78.1%) | 労働雇用戦略課 | |
| 29 | 農林水産業リカレント教育修了者数(累計) | 304人 | 1,690人 | 936人 | 1,328人 | 令和5年5月頃判明 | — | 農・林・水アカデミーにおいて、受講者ニーズにあった魅力ある講座を展開して多くの方に学んでいただく環境整備やスマート化技術等の最先端技術に対応できる人材の育成を図っている。 | 農林水産総合技術支援センター経営推進課 | |
| 30 | スクールソーシャルワーカーの配置数 | 23人 | 26人 | 25人 | 26人 | 27人 | 100% (103.8%) | 令和4年度は、スクールソーシャルワーカーを24市町村教育委員会に配置し、学校問題解決支援チーム派遣事業として学校の要請により派遣を行った。引き続き、学校における教育相談体制の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーの配置を促進する。 | 人権教育課 | |

| | | | | | | | | | | |
|------------------------|--|------------------------|--------------------|------------------------|------------------------|----------------|------------------|---|-----------------------------|---------------|
| 31 | 家や図書館で1日10分以上本を読む児童生徒の割合 | 90.1%(小5) 80.2%(中2) | 94%(小5) 89%(中2) | 90.0%(小5) 82.0%(中2) | 92.6%(小5) 83.3%(中2) | 令和5年5月頃 判明 | - | 読書の生活化プロジェクトVIにおいて、「おすすめ本」や「気になる新聞記事」について語り合う活動を通して、引き続き目標達成に向け取組を推進する。 | 学校教育課 | |
| 32 | 高校生を対象とした読み聞かせ講習会等への参加者数 | 94人 | 100人 | 93人 | 50人 | 36人 | 36.0% | 令和4年度は読書バリアフリー推進事業の「音訳・点訳講習会」と併せて参加者の募集を行い、当初計画は3会場での実施を計画していたが、県南部での参加希望者が少なく、2会場での実施となった。次年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた実践会を開催し、参加者の増加を図りたい。 | 生涯学習課 | |
| 33 | 食育に関心を持っている人の割合 | 83.7% | 95% | 86.8% | 86.4% | 86.4% | 90.9% | 関係機関・民間団体等と連携し、「みんなが健康！県産食材料理レシビコンクール」の開催及びレシビ集の作成・配布による食育・地産地消に対する理解向上や気運醸成、「親子オンライン料理教室」の開催による地域農業や食文化への関心の向上を図った。 | もうかるブランド 推進課 | |
| 34 | 徳島県食育推進計画*の推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 推進 | 食を大切に考え、食を通して豊かな人間性を育むため、「みんなが健康！県産食材料理レシビコンクール」の開催及びレシビ集の作成・配布、郷土料理や県産食材を使った料理を作る「親子オンライン料理教室」の開催等により、徳島県食育推進計画(第4次)に基づく食育活動や意識啓発の取組を推進した。 | もうかるブランド 推進課 | |
| 2 若者の経済的自立への支援 | | | | | | | | | | |
| 35 | 農林水産業新規就業者数(累計) | 1,047人 | 2,640人 | 1,471人 | 1,692人 | 令和5年6月頃 判明 | - | 関係機関が一丸となった、農業・林業・漁業の各アカデミーにおける実践的研修や実施する就業後のフォローアップを通じ、次代の農林水産業を担う担い手の育成・確保を図っている。 | 農林水産総合 技術支援セン ター経営推進課 | |
| 36 | 高校におけるインターンシップの実施率(全日制・定時制) | 100% | 100% | 47.5% | 51.2% | 令和5年3月末 頃判明 | - | 各高校の教育目標及び生徒の実態に応じ、企業等と連携してインターンシップを実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により基準年度に比べて実施率が下がる見込みである。 | 学校教育課 | |
| 3 困難な環境に置かれた子ども・若者への支援 | | | | | | | | | | |
| 再掲 | スクールソーシャルワーカーの配置数(再掲) | 23人 | 26人 | 25人 | 26人 | 27人 | 100% (103.8%) | 令和4年度は、スクールソーシャルワーカーを24市町村教育委員会に配置し、学校問題解決支援チーム派遣事業として学校の要請により派遣を行った。引き続き、学校における教育相談体制の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーの配置を促進する。 | 人権教育課 | |
| 37 | ホームフレンドの派遣回数(年間) | 55回 | 100回 | 51回 | 29回 | 70回 | 70.0% | 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら派遣調整したことにより、目標の達成には至らなかったものの、利用は回復傾向にある。引き続き、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、ホームフレンドによる家庭訪問を継続する。 | 次世代育成・青 少年課 | |
| 4 特別な配慮を必要とする子どもへの支援 | | | | | | | | | | |
| 38 | 「徳島県発達障がい者総合支援センター」における関係機関への助言件数(年間) | 63件 | 70件 | 54件 | 51件 | 61件 | 87.1% | 新型コロナウイルス感染状況がある程度の落ち着きを見せたことから、直接現場での助言を求められる機会が増加した。国の方針を踏まえ、関係機関に対する助言等地域の支援体制へのバックアップ等に力を入れる。 | 発達障がい者 総合支援セン ター | |
| 39 | 「徳島県発達障がい者総合支援センター」における外部機関や地域住民への研修、啓発数(年間) | 97件 | 120件 | 93件 | 103件 | 130件 | 100% (108.3%) | 新型コロナウイルス感染状況がある程度の落ち着きを見せたことから、外部機関や地域住民から研修講師に招へいされる機会が増加した。YouTube「徳島県民チャンネル」を利用する等、Webも活用し、発達障がいの正しい理解を進めるため、広く啓発していく。 | 発達障がい者 総合支援セン ター | |
| 40 | 「ポジティブな行動支援」に取り組んだ園・学校の割合(累積) | 20.2% ※ | 100% | 67.0% | 96.0% | 100% | 100% | 研修等を通して、ポジティブな行動支援の考え方の浸透を図り、すべての園・学校で実践に取り組むことができた。 | 特別支援教育 課 | ※ 行動計画 20% |